

市勢の概要

1 はじめに

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、中四国の交通のクロスポイントに位置する岡山市は、明治22年6月の市制施行により、旧岡山藩城下町を中心に、面積5.77k㎡、人口47,564人で発足した。

平成8年4月に中核市に移行し、平成17年3月の御津町・灘崎町との合併、平成19年1月の建部町・瀬戸町との合併により、新「岡山市」が誕生。平成21年4月、全国で18番目の政令指定都市に移行した。

岡山市の発展と市民の心の豊かさや幸福度を高めるため、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の視点から、様々な分野における重要施策に全力で取り組み、都市の総合力を着実に高めてきた。

少子高齢化による人口減少、自然災害の激甚化・頻発化、グローバル化の進展やデジタル技術の急速な発達、人々の働き方や価値観の変化への対応といった様々な課題にも的確に対応し、「“わくわくする”桃太郎のまち岡山」の実現をめざし、交通の至便性や多様で豊かな地域資源等の岡山市の強み・特性を最大限にいかしつつ、活力と魅力あふれるまちづくりを進めていく。

教育に関しては、平成19年4月に「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」（愛称：岡山っ子育成条例）を施行し、家庭・学校園・地域社会・事業者及び行政が協働して、自立に向かって成長する子どもの育成の推進に向けて取り組んでいる。

また、平成27年度に教育課題の解決に向け、教育委員会との連携を深めた取組を行うため設置した総合教育会議で、岡山市の教育の現状と課題、目指す方向性等について協議を重ね、平成29年2月に第1期岡山市教育大綱を、令和3年3月に第2期岡山市教育大綱を、令和8年3月に第3期岡山市教育大綱を策定し、岡山市を挙げて学校教育の変革にチャレンジしている。



市長 大森 雅夫

2 岡山市の地勢

岡山市は、面積789.95k㎡という広域の都市である。

地形的には、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、北部は吉備高原に連なる山並みが、南部は地味豊かな平野が広がっている。水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えた都市である。

3 人口・世帯数の推移

(各年3月末現在)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
世 帯 数	331,652	334,876	335,215	338,076	340,187	342,220	344,770
人 口	707,981	706,775	702,073	699,596	696,280	693,219	690,972